

平成23年度鈴鹿市立千代崎中学校研修計画

1. 研究主題及び教科

研究主題	基礎学力を身につけ、意欲的に学ぶ生徒の育成
教科領域等	全教科・全領域

2. 主題設定の理由

- ・本年度も一昨年度より設定された研究主題「基礎学力を身につけ、意欲的に学ぶ生徒の育成」の工夫・改善を引き続き進める。
- ・昨年度から引き続き、生徒一人一人の学力に応じた支援（千代ゼミ）に取り組む。さらに、今年度の重点課題である、「家庭学習の充実」を図るために、「家庭学習の手引き」を作成し、生徒一人ひとりに配付し、家庭学習での取り組み方を説明し、家庭での学習を充実したものにできるように取り組ませる。
- ・日常の学習評価を生徒自身に行わせ自己の到達度を認識させる。これによって、次の目標に取り組む気持ちを持たせる。

3. 研究内容及び方法

<子どもにつけたい力>

- ・基礎的・基本的な学力
- ・自ら学習目標を定め、それに向かって意欲的に取り組む力
- ・自分のよい点や可能性、進歩の状況などを自分なりに評価するとともに、仲間のよい点や進歩の状況なども認められる力

<本年度の指導の重点>

- ・生徒自らが学習目標を定め、それに向かって取り組むための、放課後や長期休業中を活用して、基礎的・基本的な力を養う。
- ・日常の学習評価を生徒自身に行わせ自分の到達度を認識させ、次の目標に向かう意欲を引き出す。
- ・各教科で授業の工夫・改善を進め、意欲的に学ぶ生徒を育成する。
- ・基礎学力向上のために、毎週木曜日の放課後に千代崎ゼミナールを行うとともに、定期テスト一週間前から、放課後に教室を開放し「集中ゼミナール」を行う。
- ・長期休業中に学習ボランティアを活用し、夏休みには「サマゼミ」、冬休みには「冬ゼミ」を行い、基礎学力を向上させる。

<具体的な方策>

- ・年間学習計画や授業の受け方、家庭学習の進め方や評価の方法、学習内容や目標等をシラバスとしてまとめ、生徒に配布する。1年間の予定や到達目標をあらかじめ知らせることによって、学習意欲を高める。
- ・自分の理解がどの程度まで進んでいるかを小テストや自己評価を使って、生徒自身に認識させる。
- ・毎週木曜日の放課後、20分間を千代ゼミの時間とし、基礎学力を保障し、学習意欲を高める。
- ・定期テスト一週間前から「集中ゼミナール」を行い、希望者に教室を開放し、自主的に学習できる環境をつくる。
- ・各教科で授業の工夫・改善を行い、生徒の学習支援に取り組む。各クラスで視点生徒を置き、その効果を確認し、意欲的に学ぶ生徒を育成する。
- ・全教員が各学期に1回公開授業を行い、生徒一人一人が意欲をもって取り組む授業をめざし、具体的な工夫や手だてを研修する。
- ・5教科の自主公開授業を行い、授業力向上を図る。
- ・朝の読書（1，2年生）の年間指導計画を立案し、基礎・基本である「読解力」を養うとともに、共通教材を用い、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動を取り入れる。
- ・朝の学習（3年生）を実施し、基礎学力の定着と学習習慣の確立を図る。
- ・5教科で市内自主公開授業を行い、その取組を発信する。

4. 年間研修計画

<p>一 学 期</p>	<p>4月 研修目標計画確認 4月 各部会毎に活動計画作成 5月 教科部会、教科研修テーマ決定 5月 中間テスト前、一週間 集中ゼミナール実施 6月 宿題強化月間 6月 授業公開週間 6月 期末テスト前 一週間 集中ゼミナール実施 夏休み中 サマーゼミナール実施 職員研修実施 一学期の反省と二学期の改善方針決定</p>
<p>二 学 期</p>	<p>10月 中間テスト前、一週間 集中ゼミナール実施 10月 宿題強化月間 10月 授業公開週間 11月 5教科の自主公開授業 12月 期末テスト前 一週間 集中ゼミナール実施 冬休み中 冬ゼミナール 二学期の反省と三学期の改善方針決定</p>
<p>三 学 期</p>	<p>1月 授業公開週間 2月 宿題強化月間 2月 5教科の自主公開授業 2月 学年末テスト前 一週間 集中ゼミナール実施 2月 研究報告書作成 2月 今年度の反省と来年度の改善方針決定 2月 千代崎中学校白書の作成 2月 各教科部会 今年度の反省と来年度に向けて</p>